

議案

小学校体育館

空調設備などに係る補正

可決

概要
一般会計の予算に6億1670万4千円を増額し、総額を443億2615万6千円とするものです。
歳入の主な内容は、民生費県補助金140万円、ふるさと応援寄附金1億5737万5千円、基金繰入金1億6110万4千円などです。歳出の主な内容は表のとおりです。

主な歳出補正の予算額

事業名	事業概要	予算額
基金積立事業	土地開発基金、宅地開発等関連施設準備基金、地域福祉基金の廃止に伴い、取り崩し分を積み立て	3248万円
ふるさと応援寄附金納付促進事業	ふるさと応援寄附金の歳入見込み増に伴い、委託業者への手数料と委託料を増額	7593万円
拡大子ども医療費支給事業	令和6年10月からの小学生無償化による受診件数の増加、また、令和7年10月からの中学生無償化による受診件数の増加見込みに伴い、扶助費を増額	1991万円
保育所等ICT化推進等事業	私立保育所2カ所による、こども誰でも通園制度の実施にあたり、総合支援システムを利用するためのパソコン購入への補助を実施することに伴い、補助金を皆増	165万円
総合公園遊具等更新事業	筑紫野市総合公園の多目的駐車場を整備することに伴い、単独工事費を増額	1997万円
小学校屋内運動場空調設備整備事業(体育館)	市内小学校全11校の屋内運動場に空調設備を整備することに伴い、設計委託料を皆増	2186万円

示車止めの設置、整地、樹木の伐採、区画線工、園路の表

による施工の内容は。

総合公園遊具等更新事業



空調設備（イメージ）



答 受診件数の増加に対し、モニタリング等は行わないのか。

問 分析に止まることなく、今後の医療費削減につながるか否かを見極めが必要があるため、慎重に検討していく。

答 モニタリング等が実現するかどうかは、財源は、地方債とのことで、国県からの補助は受けられないのか。

安全対策、案内板の設置などを実施する。

小学校屋内運動場空調設備整備事業



本会議と委員会の会議録閲覧はこちらから

※12月定例会会議録は令和8年2月中旬以降に閲覧可能となります。



本会議会議録



委員会会議録

総務市民常任委員会

議案

住民票等手数料
コンビニ交付で減額

可決

なげてい
きます。



近隣市は250円の
設定が多く、コンビニ
交付率は30%台です。
本市は200円の設定
とし50%を目指値とし
ます。

改定時期 令和8年2月1日 (1通あたり)

種類	改定前	改定後	
		窓口	コンビニ
住民票の写し	300円	300円	200円 (Δ 100円)
印鑑登録証明書	300円	300円	200円 (Δ 100円)
所得課税証明書	300円	300円	200円 (Δ 100円)

改定時期は来年の繁
忙期を迎える直前の令
和8年2月とし、窓口
の混雑緩和並びに市民
の利便性向上につ
なげています。

問 委員会での質疑

近隣市は250円の
設定が多く、コンビニ
交付率は30%台です。
本市は200円の設定
とし50%を目指値とし
ます。

証明書のコンビニ交付
手数料を現行よりいず
れも100円減額しま
す。

証明書の窓口交付と
コンビニ交付の金額に
差をつけることで、コ
ンビニ交付の促進によ
る来庁者の減少、窓口
混雑の緩和を図り、市
民の利便性の向上につ
なげます。

住民票の写し、印鑑
登録証明書、所得課税
証明書のコンビニ交付
手数料を現行よりいず
れも100円減額しま
す。

概要

問

委員会での質疑

概要

答

委員会での質疑

概要

委員会での質疑

問

委員会での質疑

7

調査

警固断層帯における
被害想定増

被災想定増

報告

一〇市コミュニティ再編
～天拝小学校校区～



筑紫野市立天拝小学校

福岡県地震に関するアセスメント調査報告に基づく被害想定

警固断層帯	最大震度	全壊全焼(棟)	半壊(棟)	死者数(人)	負傷者(人)	避難者(人)
今回調査(令和7年)	7	1,900	3,100	100	600	9,700
前回調査(平成24年)	6強	1,500	1,200	100	1,600	3,900
差分		400	1,900	0	-1,000	5,800

答 新たな建設などあ
る場合、関係課に呼び
かけを行っていきたい。

答 自宅トイレが使用
できないケースに備え、
新たに建設するコミュニ
ティセンター等にマ
ンホールトイレを設置
できないか。

答 簡易トイレは、内
閣府が示す算出分より
多い7・100回分は
備蓄できている。

約10年間の社会情勢の
変化や地震に関する調
査研究の蓄積などを踏
まえ、福岡県が地震に
関する最大の被害を想
定した調査をし、10月
末に説明会が実施され
ました。

平成24年の調査後、
0人増で、今後の方針
や対策に変更が必要で
はあるため、内容を精査
しながら順次改訂を行
つていく。

概要

問

委員会での質疑

概要

答

委員会での質疑

概要

問

委員会での質疑

議案

小中学校体育施設
使用料有料化

否決

議案

「ど」も誰でも
通園制度の開始

可決

報告

重層的支援体制整備事業

概要

本市の学校体育施設使用料は有料又は無料であり、農トレ等は有料であることから利用する団体等の公平性が保たれていない状況や、受益者負担の観点から課題があります。それ

に加えて、近隣自治体の学校体育施設を有料化する条例案が提出されました。

委員会からの提言を受け、小中学校の体育施設を有料化することに加え、外部評価に加えて、近隣自治体の学校体育施設は有料であることや外部評価

で家庭に対し、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形で支援を強化するために創設され、令和8年4月から全国で始まります。本市でもこの制度を開始するにあたり、設備及び運営に関する最低基準を定めるため条例を制定するも

ります。本市でもこの制度を開始するにあたり、設備及び運営に関する最低基準を定めるため条例を制定するも

う、新たに人数枠を設け保育士を雇用する一般型を予定しているため、負担が生じることはない」と考えている。

○対象児童
○保育所、認定こども園、地域型保育事業所等に通っていない生後6ヶ月から2歳(3歳までの誕生日の前々日)までの子ども
○利用可能時間
○利用料
○時間まで
1時間あたり300円
程度

答	問	委員会での質疑
答 受益者負担の観点から完備されれば頂く方針である。	問 数年以内に全小中学校体育館へ冷暖房が完備されるとのことだが、その際は、冷暖房使用料を設定する予定なのか。	答 本市料金案及び筑紫地区5市比較 (1時間あたり、円)

い料金レベルに設定されていたこと、他の4市にはある市内団体や子ども向け等の割引がないこと、小中学校体育館の料金水準を指定管理施設に合わせることが公平ではないとの反対討論があり、採決の結果、賛成者がおらず否決したもの。



○
答
余裕活用型ではなく、新たに人数枠を設け保育士を雇用する一般型を予定しているため、負担が生じることはない」と考えている。

○
答
余裕活用型ではなく、新たに人数枠を設け保育士を雇用する一般型を予定しているため、負担が生じることはない」と考えている。

○
答
総合相談窓口を設けず、既存の体制を基にした体制を検証しているが連携して対応する。運用しながら本市に合った体制を検証していく。

○
答
事業を進めるにあたり、職員数や体制は十分に確保できているのか。

概要

本事業は次の5つの事業を一体的に実施するものです。

①包括的相談支援事業
相談者の属性、世代、相談内容に関わらず抱える課題の整理等。

②参加支援事業
本人やご家族が地域や社会との関わり方を選択し、自らの役割を見出すために多様な接点を確保することを目的とした支援。

③地域づくり事業
世代や属性を超えて住民同士が交流できる多様な居場所や機会等を整備。

④アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
本人との信頼関係の構築や、支援関係機関とのネットワーク構築等。

⑤多機関協働事業
支援関係機関の抱える課題の把握や役割分担、支援の方向性の整理や調整機能等。

○
答
既存の窓口
高齢者
障がい者
子ども
生活困窮者
※様々な事情により経済的に困窮し、生活が維持できないもの
地域ケア個別会議等
基幹相談支援センター
要保護児童対策地域協議会等
支援調整会議等
既存会議等でケース検討。その結果、必要に応じて重層事業担当部局へ
重層的支援会議または支援会議
本市の包括的相談支援事業

討論・採決

本市料金案及び筑紫地区5市比較

施設	費目	筑紫野市(案)	春日市	大野城市	太宰府市	那珂川市
体育館	使用料	550	550	320	550	220
	照明料	220	110	200	220	340
	冷暖房使用料	-	-	1,270	-	-
グラウンド	使用料	550	550	320	550	220
	照明料	2,200	1,650	1,540	2,200	1,660
武道場	使用料	330	550	320	550	120
	照明料	110	110	200	-	170

今後、筑紫地区で最も高い料金を支払う地域となる見込みです。

1月を予定しています。

既存の窓口
高齢者
障がい者
子ども
生活困窮者
※様々な事情により経済的に困窮し、生活が維持できないもの
地域ケア個別会議等
基幹相談支援センター
要保護児童対策地域協議会等
支援調整会議等
既存会議等でケース検討。その結果、必要に応じて重層事業担当部局へ
重層的支援会議または支援会議
本市の包括的相談支援事業

建設環境常任委員会

議案

法定外道路の管理に関する条例の制定

可決

概要

道路法の適用を受けない市が所有する道の保全と、適正な利用を図るために条例を新しく作るものです。

市内の里道などの、

占用許可や行為の禁止、占用料、原状回復、境界確定の協議、過料などの規定を道路法に準じて設けることにより、適切な管理を行うものです。



里道の一例

議案

粗大ごみ回収サービス オンライン申込が可能に

可決

概要

令和8年2月から粗大ごみ回収サービスの申込・決済をオンラインでも可能にするものです。

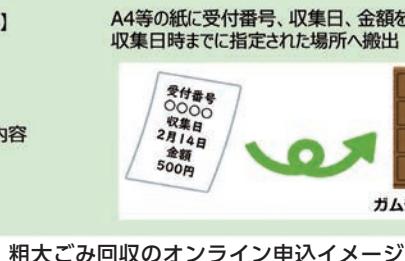
これにより、24時間いつでもオンライン申込が可能となり、粗大ごみシールの購入、電話申込が不要になります。

問 条例が制定されることにより、どのように取扱が変わらのか。

答 許可を得ていない占用などに対し、はつきりややすく指導することができます。

問 周知の方法をどのようにするのか。

答 市の広報紙やホームページ、SNSを活用し、令和8年度のごみ出しカレンダーにも掲載する予定である。



粗大ごみ回収のオンライン申込イメージ

報告

JR一日市駅の待合室に 待望のエアコン設置!

可決

概要

観光客の利便増進による観光振興及び公共交通機関の利用促進を図るため、JR二日市駅構内の待合室に空調設備を設置しました。外気の侵入を防ぐエアカーテンも設置し、より快適な待合室となりました。工事金額は合計1264万5千円です。

問 周知の方法をどのようにするのか。

答 年間46万円の電気代やガス代がかかる見込みである。

問 ランニングコストはおおよそいくらか。

概要

日々多くの登山客・観光客が利用している

天拝山山頂の樹木剪定で 景観が改善! 魅力を最大限に!

天拝山展望台は、樹木やツタが生い茂り眺望が損なわれているため、山頂周辺の樹木を剪定しました。視界が開け、

観光客が利用している天拝山展望台は、樹木やツタが生い茂り眺望が損なわれているため、山頂周辺の樹木を剪定しました。視界が開け、

西側の糸島市から北東側の阿志岐地区まで見渡すことができます。工事金額は合計444万円です。

北東側

西側

剪定前

剪定後

設置したエアコン(4か所)

出入口付近に設置したエアカーテン(4か所)

9 —— 議会だより筑紫野 令和8年2月1日

委員会視察レポート

總務市民常任委員會

地域で生きがいを持つて安心して暮らせる「地域共生社会」の実現を目指したコミュニケーションユニーク政策を推進していく。区長制度を廃止する際、旧市街地や山間部では反対の声が強く、困難を極めたとのこと。担い手不足や世代交代の対策として、自分自身の住んでいく地域に親しみを持つてもらうことを中心とした地域の散策などによるマップ作成

住民主体の まちづくり (二重県名張市)

想定避難者数を基礎とした備蓄量の設定や、拠点防災倉庫と物流訓練の一体的運用、小中学校体育館の空調・電源確保、災害時のトイレ確保といった「平時から具体的な備え」に取り組んでいる。先進事例を参考にし、これらの取組を積極的に推進していく。

ヨンを大きくインロー（市内向け）とアウンターポロモーションを確にしている。既存の魅力を市内外の人間に再度認識してもらう取組や、そこに新たな付加価値を付けていく取組など大変参考になつた。

本市も、歴史や自然など様々な魅力が眠つていいるので、ティップロモーションを活かしていきたい。

シティプロモーション ショーンの取組 (大阪府箕面市)



名張市での視察の様子

り等の取組を試みて
いる。
今後も視察等の機
会を活用し、課題解
決の取組を推進して
いく。

ニシキヤ

東京都国立市
「矢川。プラス」

子育て支援と多世代間交流拠点

栃木県真岡市
[monaca]

コンセプトは「まちなかの大きな家と庭」多世代交流・子どもとの居場所づくり・学習支援・介護予防等を複合的に実現する施設。矢川駅近接の再開発により、耐震性を満たさない都営団地の建替と同時に地域課題へ対応する複合公共施設として整備。2階建ての中規模施設で、1階は多世代が交流でき、2階は子育て特化型エリア。環境づくりが子どもの行動を変えるという視点を重視する館長が運営する、木の温かみ溢れる施設だった。



矢川プラス



monaca

建設環境常任委員會

生ごみリサイクル
(茨城県土浦市)

**棚田才一ナ一制度
(茨城県茂木町)**

神立資源リサイクルセンターは、日本の相互通用を行なう登電可能な施設である。バイオプラントは、食品廃棄物と土浦市の生ごみをメタン発酵させ、バイオガス（CO₂削減、発電）と堆肥（農業利用・無償配布）を生成する。工コプラントは産業廃棄物を処理し、その余剰蒸気をバイオプラントの加温熱源として提供し、バイオプラントのバイオガスはエコプラントの補助燃料に使われ、相互に連携している。

平成11年から入郷地区の「石畳の棚田」が全国棚田百選に選ばれしたことから棚田に関してブランド化が図られた。課題は高齢化に伴う作業労働者不足や才一一一が参加しない期間の日常管理、作業負担、長時間労働、天候不順や害虫、市場価格の変動による収穫や収益が見込めない、新たな参加者の減少、制度のマネリ化、交流人口からの定住に繋がるまでのハードルの高さなどである。



袖立資源リサイクルセンター



入郷石畑の棚田